

講演会

志村真氏

塵の中の神

～内戦時／後のスリランカに おけるキリスト像～

主催: 立教大学 キリスト教学研究科
日時: 2018年4月17日(火)、18:20～19:50
場所: 池袋キャンパス 12号館2階会議室

スリランカは、1970年代から2009年までの約40年間、二つの内戦を経験し、多くの人命を失い、社会的インフラを破壊してきました。暴力の応酬・連鎖の中であって、スリランカのキリスト者は、苦しむ民衆と共にあるキリストとどのように出会い、そしてどのように証言をつむいできたのでしょうか。本講演では、スリランカの地誌的概要と二つの内戦の推移についてお話しした後、内戦状況の中で読み取られた具体的なイエス物語の読解と再話を紹介いたします。

その際、聖書の場面とスリランカの現実とを重ね合わせた中で表現された、スリランカの現代キリスト教美術作品を見ていただくことで、重層的な学びとなるよう心がけたいと思います。最後に、内戦「終結」後の課題である傷付けられた人々のケアの問題と民族間の和解について触れたいと思います。

講師は1982年東京神学大学神学研究科博士前期課程修了。1988年ランカ神学大学特別聴講生、1997～98年海外宣教研修所研修生。宮崎県、福岡県、広島県の教会の牧師を経て、2002年より中部学院大学短期大学部でキリスト教科目などを担当。著書に『平和を目指す共生神学 スリランカの対話と解放の神学に学ぶ』（新教出版社2008）、『イエス・キリストの人間観』（角川学芸出版2008）などがある。



問合せ先:

ゾンターク・ミラ (文学部教授)

msonntag@rikkyo.ac.jp

03-3985-4714